

# 令和2年度（令和元年度実施分）個別施策評価シート

文教厚生 委員会

評価する個別施策	<p><b>①福祉サービスの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅で自立した生活を送ることができるよう、適切なサービスの充実や虐待、災害時などの緊急時に対応するため、地域のネットワークを整備します。</li> <li>・医療費の助成により、安心して医療機関に受診できるよう努めます。</li> <li>・認知症になってもだれもが地域で暮らせるよう、認知症の人やその家族・周囲への支援や取り組みを行います。</li> </ul>
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		55	「順調に進んでいる点」 ・在宅で自立した生活を送るために必要なサービスが多彩である。
	どちらかといえば順調	51～75	○		「遅れている点」 ・利用者が相談する先が分かりにくい。 ・地域包括支援センター等の役割や機能についてPRが不足している。 ・地域での担い手の育成が進んでいない。
	どちらかといえば遅れている	26～50			「コメント」 ・なし
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・不足している	
	無駄な事業・内容はないか(不要な事業、類似事業を含む)			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか(事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			・相談先のPRを、特に若い世代にも届くよう、メディア等の活用を工夫すること。 ・「地域包括支援センター」の名称を分かりやすい表現に変更すること。 ・ふれあいセンター・元気スポット事業など、代替わりによる担い手育成を地域にすべて任せるとは行政としてもフォローすること。 ・地域によって温度差はあるが、自治区との関係をさらに強化するような地域ネットワークづくりを行うこと。	
	追加すべき事業はないか(事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・なし	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント(不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			・なし	
その他コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の担い手づくりのために、小中学校でのふくし共育に力を入れることを望む。</li> <li>・関連事業が多すぎるので個別施策と事業の関連がわかりやすいように再編を望む。</li> </ul>				

# 令和2年度（令和元年度実施分）個別施策評価シート

文教厚生 委員会

評価する個別施策	<b>②総合型地域スポーツクラブ活動の充実</b> ・運営や指導を担える人材を育成し、幅広い年齢層がスポーツのほか、文化的活動にも親しめるように、スポーツクラブの活動プログラムを充実します。 ・中学校体育館に併設しているクラブハウスを拠点としたスポーツクラブ活動の環境の充実を図ります。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		30	「順調に進んでいる点」 ・地域の学校、体育館、運動場等のスポーツ施設をスポーツクラブが窓口になり運営している。 ・ソシオ成岩スポーツクラブの登録数が増えている。
	どちらかといえば順調	51～75			「遅れている点」 ・中学校の部活動との連携ができていない。 ・スポーツクラブによっては幅広い年齢層が参加できる企画ができていない。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		・スポーツクラブの活性化にばらつきがあり、全体的に参加人数は減少している。 ・上位施策の「生涯スポーツの実現」に対し成人以上の登録が少ない。 ・文化的な事業がなされていない。
	遅れている	0～25			「コメント」 ・なし
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・不足している	
	無駄な事業・内容はないか(不要な事業、類似事業を含む)			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか(事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			・行政から各地域スポーツクラブへ助言できる体制を作ること。 ・中学生の部活について、教育委員会が指針を改定すること。	
	追加すべき事業はないか(事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・企画運営できる人材を育成する事業を実施すること。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント(不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			・なし	
その他コメント	・第2次半田市スポーツ推進計画(H28年度～R2年度)が計画最終年度であり、計画遂行の総括をし、第3次半田市スポーツ推進計画に反映すること。 ・総合型地域スポーツクラブが担う役割が幅広いため、総合型地域スポーツクラブ活動における公民の役割を精査すること。				

# 令和2年度（令和元年度実施分）個別施策評価シート

文教厚生 委員会

評価する個別施策	<p><b>③教員の資質向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態に応じた、よりの確な指導を行うため、教員研修の充実を図ります。</li> <li>・わかる授業、楽しい授業づくりやカリキュラム作成にかかわる研修を行い、教員の実践力を高めます。</li> </ul>
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		35	「順調に進んでいる点」 ・市独自の各種研修は実施している。
	どちらかといえば順調	51～75			「遅れている点」 ・事務事業評価がされておらず、自己評価も見えないため成果が図れない。 ・ICT化に対応する教員の能力に格差がある。 ・教員の資質に対する評価指標がない。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		「コメント」 ・なし
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・不足している	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・なし	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・教員の資質向上の取り組みについて評価ができる事業を行うこと。（教員の資質向上の見える化） ・GIGAスクール構想に伴うICT化推進に対応するための研修を行うこと。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・なし	
その他コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖域的な世界感があるが、児童生徒に尊敬され信頼される教師像への努力に欠けるとの意見がある。</li> <li>・業務の適正化、教員でなくてもできる業務を振り分ける等、研修を受けやすい環境を作ること。（教員の働き方改革）</li> </ul>				